

「旅行業部門の今後の方向性」に関する 申17号 解明申し入れ(その1) 提出!!

「旅行業部門の今後の方向性」に関する解明申し入れ(その1)を、本日(3月22日)会社に提出しました。

JR東日本の旅行業部門は1987年にびゅうブランドを立ち上げてから、駅からの独立や収支均衡の努力、新販売拠点、オンライン販売開始など、取り巻く環境の度重なる変化に対応すべく施策を担い、組合員の努力により会社経営を支えてきたことは言うまでもありません。

今回の提案は「びゅうプラザは販売促進・情報発信拠点の機能を担い、対面販売の強みであるコンサルティングにより当社エリアの観光流動を創る役割がある」との労使で議論し確認してきたことから大きく変更する内容になります。

JR東労組は、旅行業部門の立ち上げから職場議論を基に、労働条件の維持・改善、働きがいの創出を目指して取り組んできました。今提案に対してもしっかりと議論を行い、組合員の不安を払拭し、働きがいを創出するために議論を行っていきます。

旅行業部門で働く私たちの苦勞と努力を無駄にするな!! 働きがいを低下させるな!!



申し入れ項目(要旨)全14項目

【この間の旅行業部門に関わる施策の成果と課題】4項目

- ・JR東日本発足以降の旅行業部門の成果と課題を明らかにすること。
- ・「環境の変化」により、度重なる施策を担ってきた旅行業部門で働く組合員に対する評価を明らかにすること。

【施策の目的と概要、スケジュール】7項目

- ・びゅうプラザを顧客接点型拠点とする目的と理由を明らかにすること。また、顧客接点型拠点の業務内容、各拠点の規模を明らかにすること。
- ・顧客接点型拠点を25箇所にする根拠を明らかにすること。また、顧客接点型拠点として整備する基準を明らかにすること。
- ・現在、VTSが運営しているびゅうプラザの将来展望を明らかにすること。

【グリーンスタッフの変更点】3項目

- ・グリーンスタッフをVTSへの出向が出来るようにする理由を明らかにすること。

旅行業部門で働く仲間たちの働きがいを創造しよう!!